

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもコミュニティルーム たいよう		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 4	(回答者数)	3
○従業者評価実施期間	2026年 2月 16日		2026年 2月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<p>環境・体制整備</p> <p>1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。</p> <p>2 職員の配置数は適切であると思いますか。</p> <p>3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。</p> <p>4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。</p>	<p>利用児童ひとりひとりが十分なスペースで活動ができるよう、おもちゃ収納や本棚を壁に寄せている。</p> <p>利用児童の様子に合わせて環境整備ができるよう、パーティション等を準備している。</p>	<p>日々の安全管理の中で危険個所の確認を徹底し、ケガに繋がる箇所・場所に対して改善を進めていく。</p>
2	<p>満足度</p> <p>27 こどもは安心感をもって通所していますか。</p> <p>28 こどもは通所を楽しみにしていますか。</p> <p>29 事業所の支援に満足していますか。</p>	<p>利用児童が安心して通える場所、楽しく過ごせる場所として認識してもらえるよう、個々に好きなことがなんであるのかを把握し、日々の対応に努めている。</p>	<p>個々の要望に適切対応できるよう、利用児童とのコミュニケーションを大切に日々のサポートを進めていく。</p>
3	<p>多職種（看護師・保育士・介護福祉士・児童指導員・理学療法士）が利用児童のサポートに携わっている点。</p>	<p>いろんな視点から利用児童が抱える課題を観察・分析し、スタッフ間での情報共有に取り組んでいる。</p>	<p>サポートに関連する研修会等へ積極的に参加し、新しい視点を取り入れながら日々のサポートを進めていく。</p>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<p>適切な支援の提供</p> <p>11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会。</p>	<p>交流に向けた取り組みを進めることができていない。</p>	<p>まずは地域で他のこどもと活動する機会（地域の公園等）を設けていく。</p>
2	<p>保護者への説明等</p> <p>14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。</p> <p>18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。</p>	<p>家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）に関する研修等へ参加し、情報発信をする準備ができていない。</p> <p>日々の利用児童対応に重点を置いている為、新たに時間を設ける工夫ができていない。</p>	<p>家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）に関する研修等を受講し、情報発信ができる準備を進めていく。</p> <p>スタッフ間で話し合いを進め、保護者会やきょうだい向けのイベントを発信していけるよう、準備を進めていく。</p>

3	非常時等の対応 24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	避難訓練等実施した記録を発信できていない。	訓練等の様子を撮影し、ホームページ・SNSでの発信、施設内掲示にて情報共有を進めていく。
---	--	-----------------------	--